

マリー・スクウォドフスカ・キュリー・アクション (MSCA Individual Fellowships)

欧州委員会が提供している研究奨学金。欧州域外の研究者が欧州域内へ移動し新たな研究を開始する場合に申し込む「ヨーロッパフェローシップ」と、欧州域内の研究者が欧州域外へ移動し新たな研究を開始する場合に申し込む「グローバルフェローシップ」の2つが主に存在する。欧州の研究の卓越性の向上を目的とし、すべての科学・技術関連分野を対象として世界中の研究者にその門戸が開かれている。

フェローシップの概要

	ヨーロッパフェローシップ ¹⁾	グローバルフェローシップ
予算規模	約 307 億円	約 65 億円
概要	欧州域外から域内への研究拠点の移動。	欧州域内から域外への研究拠点の移動。 在外研究終了後、欧州域内へ戻り最低一年研究に従事すること。
応募条件	年齢・国籍制限なし。滞在予定国へ過去3年で12ヶ月以上滞在していないこと。	年齢制限なし。欧州国籍あるいは欧州長期滞在者。 滞在予定国へ過去3年で12ヶ月以上滞在していないこと。
助成期間	12-24ヶ月間	12-24ヶ月間(欧州域外) + 12ヶ月(欧州域内)
助成金額(月額)	生活費 4880 ユーロ 調査旅費 600 ユーロ 家族補助 500 ユーロ ²⁾	
申請方法	オンラインポータルサイトによる電子申請	
審査方法	下記参照	
審査スケジュール(今年度)	公募開始: 2019年4月11日 公募〆切: 2019年9月11日 審査期間: 2019年10~11月 結果通知: 2020年2月 渡航開始: 2020年3~9月	

審査方法

	卓越性	インパクト	研究実施面での質と効率
審査基準	①研究課題の質と信頼性、新規性、および学際性やジェンダーへの適切な配慮 ②受入研究機関によるトレーニングの質と妥当性、受入研究機関と申請者間の知的交流の質と妥当性 ③受入研究機関の研究指導および協働研究体制の質 ④フェローシップ受給中における申請者の専門家としての発展の可能性	⑤フェローシップ受給後のキャリアの将来性 ⑥研究成果の抽出および発信方法の質 ⑦広範な聴衆に対する研究活動の発信方法の質	⑧研究計画の一貫性と効果性 ⑨リスクマネジメントを含めた研究管理の妥当性 ⑩研究環境の妥当性
比重	50%	30%	20%
評定	3人の専門家による個別審査。①~⑩までの審査項目にそれぞれ0-5の評点をつけ、比重に沿って合計点を算出。		
備考	極めて高い評点を得たにもかかわらず予算の都合で止む無く不採択となった申請書には「優秀認定 Seal of Excellence」が付与される。このような質的保証を行うことで、他の助成金などへの採択を積極的に支援。		

¹ 欧州主要国以外の受入研究機関を指定している場合に限り、ヨーロッパフェローシップの申請者不採択者に対してさらなるフェローシップ(Widening Fellowships)の可能性が用意されている。その採択者はマリーキュリーフェローを名乗れないという点に違いがあるものの、基本的に、助成額や助成期間などはどちらも同じである。ヨーロッパフェローシップの申請書の評定合計点の上位から順に採用されるため、新たに別の申請書を作成するといった必要はない。なお、欧州主要国以外とは次の国を指す: アルバニア、アルメニア、ウクライナ、エストニア、キプロス、クロアチア、ジョージア、スロバキア、スロベニア、セルビア、チェコ、チュニジア、トルコ、ハンガリー、フェロー諸島、ブルガリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポーランド、ポルトガル、マルタ、モルドヴァ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルグ、ルーマニア、北マケドニア。

² 滞在国によって若干の増減有り。また税金が引かれるので、実際に受取る額はもう少し低い。

申請書の構成

	Administrative Forms (Part A)	Project Proposal (Part B-1, B-2)
記載項目	<ul style="list-style-type: none">・受入研究機関名・研究課題名・申請分野³⁾・研究期間・研究概要・キーワード など	<p>Part B-1 (全体で 10 頁以内、各セッションの分量は自由)</p> <ul style="list-style-type: none">・ Section 1. Excellence・ Section 2. Impact・ Section 3. Implementation <p>Part B-2 (各セッションに頁制限の記載あり)</p> <ul style="list-style-type: none">・ Section 4. CV・ Section 5. Capacities of the participating organisations・ Section 6. Ethical Aspects・ Section 7. Letters of Commitment (※グローバルフェローシップのみ)
備考	申請分野とキーワードの記載をベースとして審査員が割り振られるので選択は慎重に。	A4 サイズのシングルスペース、上下左右に 15mm 以上の余白。 本文 11pt、それ以外は 8pt 以上。文献は脚注形式、8pt。

参考サイト

- ・ Marie Skłodowska-Curie Actions Individual Fellowships, Guide for Applicants 2019
https://ec.europa.eu/research/participants/data/ref/h2020/other/guides_for_applicants/h2020-guide-appl-msca-if-2018-20_en.pdf
- ・ MSCA-Individual Fellowships Handbook 2019
https://www.net4mobilityplus.eu/fileadmin/user_upload/N4M_MSCA_IF_Handbook_2019.pdf

本配布資料は、MSCA Individual Fellowships の要点を学術研究支援室の担当者が独自にまとめたものです。実際の申請準備にあたっては、必ず公式サイト の応募要領を参照し正確な情報を得るよう にしてください。

³ 次の中から 1 つを選択。Chemistry (CHE), Social Sciences and Humanities (SOC), Economic Sciences (ECO), Information Science and Engineering (ENG), Environment and Geosciences (ENV), Life Sciences (LIF), Mathematics (MAT), Physics (PHY)